

令和7年度第2回伊勢市子ども家庭支援ネットワーク委員会議 議事録

日 時 令和7年11月27日（木）午後1時30分～
場 所 伊勢市健康福祉ステーション7階 会議室1・多目的ルーム
出席委員 秋山委員、前田(晃)委員、竹澤委員、奥田(敦)委員、長瀬委員、久保田委員
 鎌田委員、右京委員、前田(弓)委員、仲地委員、山本委員、上田委員、内田委員
 加藤(泰)委員、城委員、奥田(教)委員、濱地委員、西川委員、奥野委員、村井(麻)
 村井(紀)委員
欠席委員 加藤(眞)委員、福岡委員、宮城委員、木下委員
事務局 健康福祉部理事、参事、福祉総合支援センター主幹、こども家庭相談係長
 ほか4名
議題 議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク上半期活動実績について
 議案第2号 「子ども虐待防止啓発月間」における活動について
 議案第3号 伊勢市の福祉的な取り組みについて

1 はじめに

【事務局】

開催挨拶、委員変更報告、新任委員挨拶、欠席委員報告（会議成立の報告）、事務局紹介

【会長あいさつ】

2 報告・協議事項

議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク上半期活動実績について

【事務局】議案第1号についての説明

【委員からの主な意見】

- ・虫歯がたくさんあっても親が歯科受診させていればよいが、何年も放置されて治療痕がない場合が問題である。
- ・中学校でも虫歯について校医より情報共有されると、場合によっては家庭にアプローチしたり、各機関から情報を得て可能な対応を行っている。
- ・親が虫歯を放置している場合、親権を停止しないと勝手に治療できない。子どもは病気や虫歯を治してもらう権利がある。虫歯は一生の問題であるため、虫歯くらいで一時保護と思わず、一時保護してでも治療していただきたい。

議案第2号 「子ども虐待防止啓発月間」における活動について

【事務局】議案第2号について報告

【委員からの主な意見】

- ・権利擁護については、子どもと大人の双方で意識が高まっていると感じる。支援をする大人も一層理解を深める必要ある。

議案第3号 伊勢市の福祉的な取り組みについて

【事務局】議案第3号について報告

【委員からの主な意見】

- ・児童育成支援拠点事業は三重県内で実施しているところが少ない。もっと広がってほしい。
- ・子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第21次報告）を受けての取り組み、目の前の問題にとらわれず問題の根本を解決していく川上対策について紹介。（南勢志摩児童相談所）
- ・母子保健分野における伊勢市の川上対策を報告。（伊勢市健康課）
- ・専門家に相談するまでもないが、困ったときに母同士で話し合えるように、仲間づくりに力を入れていただきたい。

3 その他

【委員からの主な意見】

- ・虐待を受けている子どもでも、親のことを神で自分をしつけてくれていると思っている子がいると知り、支援者として単純にひどい親だと思っていけないと感じた。虐待をしている親は自分も虐待されて育った人が多いので、子どもの育て方がわからない。子どもを救うためには、親も救わないといけないとと思う。